

タイトル	気持ちはいろいろ		
ワークの目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の気持ちを理解し、人によって異なる感情が存在することを知る。 		
背景	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の感情が他の人とは違うことがあるということを認知するのは多様性を認め合う上で必要不可欠な能力です。 ● 本ワークでは、あるスライドに対する感情を自分の視点、他者の視点から考えることで、上記を体感してもらいます。 		
対象学年	小学校低学年	所要時間	20~30分
準備	場面集、大阪府人権教育研究協議会作成のポスター画像、キャラ設定シート		
実施内容	支援の観点・留意点		
① 導入			
<u>趣旨を簡単に説明しつつ、今の状態を確認してもらう</u>		<u>留意点</u>	
<ul style="list-style-type: none"> ● 準備したポスター（図1）2種類を使って参加者と感情の種類をチェックしてもらう <ul style="list-style-type: none"> - 「気持ちについて考えます。毎日の生活の中で、色々な気持ちを感じると思いますが」 - 「いまあなたはどんな気持ちですか？このポスターの中から選んでみましょう。気持ちによいわるいはないので、今感じているものを選んでみてください」 ● 次に問いかけを行い、具体的な気持ちに対してどういったときに抱くか考えて、自由に発表してもらう <ul style="list-style-type: none"> - 「どんな時にちえて思う？どんな時にはあ〜って感じる？どんな時やったあ〜って思う？」 		<ul style="list-style-type: none"> ● 気持ちに良い悪いはないこと、人間は自然と色々な気持ちを感じるものだということ、感情を表現するのは恥ずかしくないことをはっきり伝えましょう ● 気持ちを発表する際には一人一人の感じ方を認め、肯定することが大切です。発表ごとに全員で拍手をするか、「そうなんだー」「そういうこともあるよね」と気持ちを受け止める表現を活用しましょう 	
② ワーク			
<u>場面集を見て、その場面でどんな気持ちになるか考えてもらう</u>			
<ul style="list-style-type: none"> ● まず、場面集の中から1つの場面を見せ、どのような気持ちになるかを考えてもらい、ポスター画像（図1）の中からどういう気持ちになったかをいっせいに選んでもらう 			

<ul style="list-style-type: none"> - 「この写真を見て、みんなだったらどんな気持ちになりそうか考えてみて！みんなで一斉に発表してもらってからまだ言わないでね！」 - 「みんな考え終わったかな？じゃあこのポスターを見て！いま思った気持ちに近そうなものを決めてくれる？みんなが決めたら、一斉にその気持ちを指さしてみよう！」 ● 何でその気持ちになろうと思ったのかを1人ずつ聞いていく <ul style="list-style-type: none"> - 「みんな色々な気持ちになったんだね。なんでそう感じたのか先生に教えてくれる？」 	
<h3>③ ワーク2</h3>	
<p>次にキャラ設定をそれぞれに割り振り、そのキャラだったら場面を見てどういう気持ちになるか考えてもらう</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 趣旨の説明を行う <ul style="list-style-type: none"> - 「それでは次にミッションを与えます。今から配る・見せるキャラになったつもりで、同じ場面でどう感じるか考えてみよう！」 ● ワークシートに記載の児童それぞれにキャラ設定(図2参照)を割り振る ● 先ほどの場面の時、そのキャラはどう考えるか考えてもらう ● 先ほど同様キャラごとに図1ポスター画像の中からどういう気持ちになったかを一斉に選んでもらう ● 何でその気持ちになりそうと思ったのかを聞く 	<p><u>留意点</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● キャラ設定はそれぞれの児童のパーソナリティとは違うものをできれば割り振ってあげてください
<h3>④ 振り返り</h3>	
<p>自分と他人では気持ちが異なることがあり、自分の感情にも理由があることを問いかけて感じてもらう</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「自分の気持ちについて気づいたことはあるかな？」 ● 「他の人の気持ちや感じ方の違いについて気づいたことはある？」 ● 「なんで、自分と他の人やキャラの気持ちが違うようになるの？なんで自分が違った感じ方をしたのか一緒だったのか、理由を考えると自分についても相手についてもわかるようになるんじゃないかな？これからも考えてみようね！」 	

大阪府人権教育研究協議会作成のポスター画像 (図1)



(左) <http://daijinkyo.in.coocan.jp/kyozai/poster1/poster1.pdf>

(右) <http://daijinkyo.in.coocan.jp/kyozai/poster2/poster2.pdf>

キャラ設定シート (図2)

気持ちはいろいろ：キャラ設定シート				
見るスライド	キャラ設定の例：どんなひとのたちばでみる？			
こねこをみたとき	どうぶつがすき ・いえてはいぬとねこをかつている	こねこをはじめてみる ・ねこをかつているしりあいがいない	アレルギーがある ・くしゃみがとまらなくなる	わかしねこをかつていた ・そのねこのことをよくおもいだす
かぞくとごはんをたべるとき	かぞくでごはんをたべることがすくない ・おやがいそがしい	おやがきびしい ・マナーがわるいとおこられる	きょうだいがおおい ・ごはんはとりあい	ゲームがだいすき ・ごはん中はゲームきんし
テストのとき	べんきょうをがんばった ・ぜんかいのテストがわるかった	べんきょうがにがて ・わるいてんすうをとるとおこられる	べんきょうがとくい ・かんがえることがすき	じっとするのがにがて ・てんすうにはこだわりがない
ひとりであそんでいるとき	ひとりっこ ・おやがしごとでいそがしい	プラモデルがすき ・じっくりひとりでするあそびがすき	キャッチボールがすき ・いつもはきょうだいでしている	おなかがすいている ・おやがかえってくるのをまっている

提供・作成：#たしかに、内山唯日

提供・作成：#たしかに、内山唯日